

評価項目及び評価基準表

生活保護のケースワーカー業務に係るBPR支援業務

実施委員審査項目（生活保護のケースワーカー業務に係るBPR支援業務に係る企画競争実施委員会の委員が行う）

評価項目	評価の視点	配点	係数	特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
1 業務執行能力【35点】								
(1) 業務の実施方針、過去の実績	・業務の目的を十分に理解した企画提案、実施方針となっているか。 ・業務全体を円滑に進められると判断できる十分な業務実績があるか、また、過去に類似の業務・事業に取り組んだ経験があり、その業務実績が、本業務に有効に活用されているか。	15	×3	5	4	3	2	1
(2) 業務体制、業務スケジュール	・業務を円滑に進められるための適切な業務執行体制、従事者構成、業務スケジュールとなっているか。	20	×4	5	4	3	2	1
2 企画提案内容【65点】								
(1) 予備調査の実施、課題の洗い出し	・既存業務のフロー策定、課題の洗い出しに当たっては、分析するための知見や技術力を有していると認められるか。 ・BPRを検討する対象となるフロー策定項目の検討に当たっての考え方、職員の負担軽減のための手法等の考え方は的確であると認められるか。 ・システムに与える影響、標準化の動向、担い手の在り方、ペーパーレスに向けたデジタルツール等を、課題の洗い出しに当たって的確に検討できる知見、構想力が見込めるか。	20	×4	5	4	3	2	1
(2) 外部意見、本市職員意見等の反映	・外部意見、本市職員の意見、他自治体の効率的な先進事例等は、新業務プロセスの提案に際し、的確に検討に反映できるものとなっているか。	10	×2	5	4	3	2	1
(3) 新業務プロセスの提案	・新業務プロセスの提案に至る検討内容は、本市の現状をもとに、To-Be像、Can-Be像を的確に提示できるものとなっているか。	10	×2	5	4	3	2	1
(4) 効果分析	・ペーパーレス移行による効果分析の手法は、具体的かつ実効性があるものとなっているか。	15	×3	5	4	3	2	1
(5) 独自提案	・対象業務の追加提案について、実現性や効果が見込める提案か ・業務目的を達成するにあたって、独自性があり、効果的な提案があるか	10	×2	5	4	3	2	1
	合計（委員1人あたり）	100						